

Special Olympics Coaches Clinic スペシャルオリンピックスコーチクリニック





フロアホッケー

Presented by: SON









•競技目的

* この競技の目的は、相手チームより多く得点を上げることである

• チーム編成

- * 1チーム最低11名必要で、最大で16名まで
- * 競技中は6人の選手が競技エリアにいる
 - ゴールキーパー1名
 - センター1名
 - フォワード2名
 - ディフェンス2名

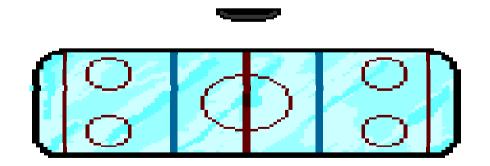






* 競技時間

- 1ゲーム3ピリオド (1ピリオド9分)
- 1ピリオドに3回ライン交代を行う(1ライン3分)
- ピリオド間に1分間の休憩
- * プレーヤーは他のアスリートより2ライン以上多く出場してはならない

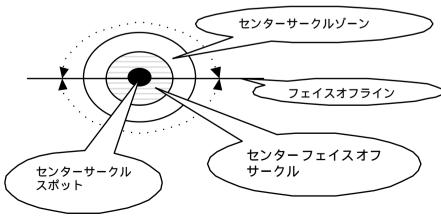






•フェイスオフ

- 以下の時に以下の場所で行う
 - * 試合開始・ピリオド開始時は、センターフェイスオフサークルから
 - * ライン開始時は、前のラインが終了した時の場所から一番近いフェイスオフサークルから
 - * 試合中でゴール以外のプレイ中断の場合は、一番近いフェイスオフサークルから
 - * ゴールの後は、センターフェイスオフサークルから
 - * マイナー・メジャーペナルティーの後は、反則を起こしたチームの陣地 のフェイスオフサークルから







・ノレーノレ

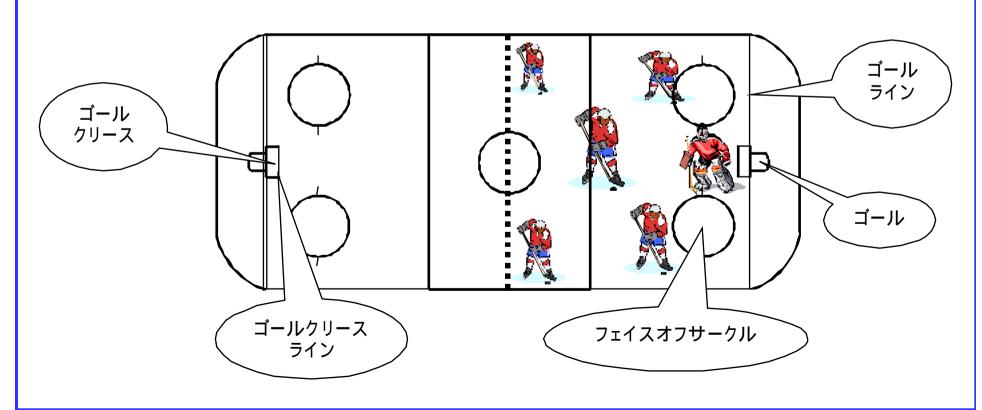
- マイナーファール
 - * プレイを中断して、一番近くのフェイスオフサークルからフェイスオフを する。
- マイナーペナルティー
 - * 違反を起こした選手は、1分間退場する。ペナルティー後は、フェイスオフを違反を起こした選手のチーム陣地で行う。退場中に違反を起こした選手のいるチームが得点を入れられた場合、1分間を過ぎていなくても試合に復帰することが出来る。
- メジャーペナルティー
 - * 違反を起こした選手は、試合から退場する。違反を起こした選手の代わりに別の選手が2分間退場し、2分経過後にその別の選手が試合に復帰する。退場中に得点が入っても、2分間を過ぎなければ試合に復帰することは出来ない。





•フロアホッケーコート

- * 最大15m×30m
- * 最小12m×24m
- * ゴール(1.8m × 1.2m × 0.6m)







用具

- * パック(円形フェルトディスク)
- * ゴールキーパー以外のスティック (木製かファイバーグラス製の棒またはdowel)

防具



- * ガード付のヘルメット(義務)
- * すね当て(義務)
- * グローブ(義務ではないが勧める)
- * ひじ・ひざプロテクター(義務ではない)
- * マウスピース(義務ではない)





ゴールキーパー用防具

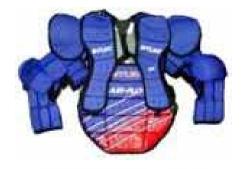
- * ゴールキーパー用スティック (公式アイスホッケー用 スティック)
- * ガード付ヘルメット(義務)
- * 公式のアイスホッケー用防具を付けてかまわない (ストリートホッケー・クリケット等の防具でもかまわない)



















• 個人スキルコンテスト

- 1. ゴールの周りからのシュート
- 2.パス
- 3.スティックハンドリング
- 4.正確なシュート
- 5.ディフェンス
- ~ 介護度の高いアスリートの為の競技 ~
 - 1.10メートルパックドリブル
 - 2.ターゲットショット







• ディビジョニング

- 1.チームについて以下の情報を試合前に入手する。
 - * リーグ戦やその他の試合結果
 - * スポーツマネジメントチームのメンバーによるシーズン中の査察
 - * スキル評価(個人スキルコンテストのスコア)
 - * 各チームのヘッドコーチからの追加情報
 - * 各チームの試合の模様を記録したビデオ
- 2.能力(上記の情報に基づき)・年齢・性別により、チームを適当なディビジョンに仮配置する。
- 3.ディビジョニングの為の試合を現場で行ってもらい、競技の為の適切なディビジョンを計る。





- ユニファイドスポーツ
 - * 競技中は常にパートナーの数を3人以下とする。









• オフィシャル・審判

* 人数

審判 2名 スコアキーパー 2名 タイムキーパー 1名





* 役割

審判

ファールを明確にコールする。 全ての場合において最終判断を下す。 スコアキーパー ゲームスコアシートが正し〈記入されているかを確認する。 タイムキーパー タイマーの管理を行う。